

井波

Vol.08
第8号

発行：令和3年
11月20日



シニアカー試乗会

交通弱者の移動手段

井波地域づくり協議会
地域づくり副部長

島田 優平

井波は誰が見ても交通不便地です。交通に関しては、優しいまちとはいえません。

3年前の「まちづくり検討会議」では、特に地域に住むことへの将来の不安の声が多く出されていたのが印象的でした。車に乗れなくなった時への不安です。井波のまちづくりの重点項目にも交通が便利になることが挙げられています。そこで、地域課題解決型事業として、井波地域4地区地域づくり協議会や観光協会井波支部、商工会井波支部、域内交通事業者、富山大学で構成し、(二社)ジンウラボを事務局とする「井波モビリティ協議会」とジンウラボでは100年後の井波が住みよいまちになるために、交通についての取組を進めています。現在その1つの方法として「自家用車相乗り交通(コミュニティ・ライド・サークル)」という取組を実証しています。助け合いの精神で、運転できる人が車を出し、困っている人の移動を助けるという取組みです。今年度3月までには、さらに地元タクシー事業者さんとも協力し、実証成果を発表する予定です。

また、自分一人が好きなどころで移動したいという思いを実現するための乗り物、「シニアカーの自動運転の実証実験」にも取組みます。誰もが自由に移動できる、そのような暮らし、地域になることを望んでいます。

井波地域の要望書を提出しました

令和3年9月16日、地域づくり協議会井波連合会の令和4年度の要望書を南砺市に提出しました。（※井波地区に関係するもののみ掲載）

○市長要望

I 郷土強靱化

- 1 道路整備の促進
(1) 南砺市安全・安心な道路整備5箇年計画の整備促進

- (2) (仮称)八乙女連絡道路の整備構想計画の調査費確保

- 2 除雪オペレーターと市有除雪機械の確保

II 安全・安心

- 1 交通広場前及び北銀井波支店前交差点への信号機の設置

- 2 自主防災組織活動強化事業(小口径初期消火資機材の整備)

- 3 南砺市初期消火資機材整備等補助金要綱の見直し

III 公共交通

- 井波地域の持続可能な交通網づくり計画策定への支援

- IV まちづくり検討会議からの提言に向けた取組支援

- 1 井波庁舎跡地及び井波美術館の活用並びに井波日本遺産推進協議会の支援
- 2 八日町通り・本町通り(上新町)の無電柱化

V 鳥獣被害防止

- イノシシ被害の実態調査と地域連携による対応の実施

VI その他

- ケヤキの森整備(杉谷林道沿い)

VII 国・県に対する南砺市からの働きかけ

- 1 道路網の整備促進

- (1) 谷今町線の整備促進と主要地方道金沢井波線との交差点への信号機の設置

- (2) (仮称)八乙女連絡道路の整備構想計画の調査費確保

- (3) 主要地方道新湊庄川線と市道井波環状線との接続路線の計画策定

- 2 県管理河川堆積土砂の浚渫等

- 大門川バイパス合流部の土砂等堆積(山見)

○南砺市担当部課要望

- 1 消雪装置の整備促進

- 2 交通事故防止交差点表示の維持管理

- 3 閑乗寺線拡幅工事

- 4 東梅谷川水路改修

- 5 交通広場緑地帯の適正管理

- 6 林道の適切な維持管理

部会だより

安全・安心部会

部会長 竹谷 弘之

地域避難所を新設

避難勧告等に関するガイドラインが改正され「自らの命は自ら守る」意識を持ち、「自らの判断により避難行動をとる」という方針が示されました。これまでのように市が発表する避難情報だけではなく、井波地区の皆さんが危険と感じたときに自主防災組織主体で地域避難所を開設できます。

地域避難所とは町内会公民館などを地震や火災、台風、土砂災害等の災害の種類に応じて、安全に自主避難できる施設です。

今後、災害の種類に応じて安全に使えるのか市の調査が行われます。調査結果については改めてご案内いたします。

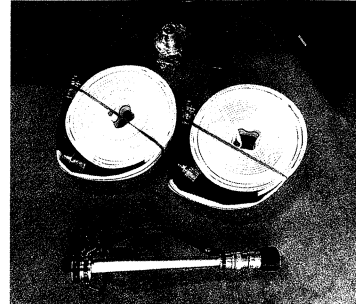
◇地域避難所へ自主避難する際のイメージ

- ① 地域避難所は一昼夜、一日程度の一時的な避難を想定しています。
- ② 避難者は各自で食料、飲料水、携帯ラジオ、着替えなど最低限の必需品を持参する。
- ③ 自宅に被害がなければ帰宅、被害を受け生活に支障があるときは市指定避難所へ避難する。

取扱いやすい消火ホース購入

昨年に引き続き40mmホースセットを10セット補助事業で購入しました。近く各町内会に配布いたします。

この40mmホースは女性やご高齢の方でも軽量で扱いやすいので、取扱い訓練等に参加いただいで、火災に備えていきましよう。



初期消火用ホース(40mm)

福祉・健康部会

井波地区敬老会

部会長 横川 仙之

今年度もコロナ感染症蔓延のため福祉センターでの式典・イベントを中止にし、敬老会対象者の皆さんには各町内会のご協力により敬寿品とメッセージを持参し慰問する方法で行いました。

今年度の敬老会対象者(満75歳以上)は930名、うち米寿を迎えられた方は49名でした。



米寿を迎えられた方への記念品

通所型サービスB「あすも元気デイ」

開所して2年目となり、毎回行うメニューに少しは余裕を持てるかと期待をしてみました。令和3年になり県内の感染警戒状況によりステージ2では午後から半日の開催、ステージ3の時には休止とし、思ったように開催できない状況が続きましたが、10月に入りステージ1の状況と共に1日開催に戻しました。現在利用申し込みの方は12名であり9月休止の間再開されること待ち遠しく10月からの再開と同時に元気に参加されています。



元気に体操しましょう!

「あすも元気デイ」の利用にしましては体温測定・手指の消毒・ソーシャルディスタンスの徹底・器具の消毒・室内換気を厳格に行って開催しています。

この施設は国の方針に従い、地域の方々のサポートにより、地域に住む介護認定の低い人や年齢と共にフレール状態になりやすい方の健康

維持を目的としています。

高齢化の進んだ井波地区には、このような状態の人は大勢おられます。是非ひとりでも多くの方があすも元気デイを利用され、一日でも長く健康で過ごしていただきたいものです。

現在、運営スタッフの人数は確保されており利用者が増えても対応できますが、送迎スタッフはいません。協力できる方は井波地域づくり協議会までご連絡をお願いいたします。

今後、「あすも元気デイ」が地区に住む方に認知され、気軽に多くの方が利用されることを期待しています。



ゲームを楽しむ皆さん

文化・スポーツ部会

部会長 塚八 栄治

親子で海で遊ぼう!(地引網体験ツアー)

好天に恵まれた7月25日(日)早朝、親子とスタッフ30名で井波を出発、コロナ禍の中、バス乗車の際には手の消毒とマスク着用の徹底、車

内には二人り掛けの座席に一人で座る等のソーシャルデイスタンスを保ちながら6時半頃、目的の氷見海岸(島尾キャンプ場)に到着。受付を済ませ浜辺へ移動すると2隻の小舟が100mほどの沖合で地引網の布設作業をしている光景が目に入ってきました。

7時からの網を引く準備が整うまで波打ち際に足を入れて久しぶりに砂浜の感触を味わっていると、昨日からのキャンプ家族や私たちのように貸し切りバスで駆け付けた団体など100人以上の子供達や家族連れが網につながりました。少しずつ引き寄せられる網の中をワクワクしながら目を凝らしていると沢山の小魚が近づいてきて歓声と共に砂浜のビニールシートに網の魚を広げると30〜40センチほどの黒鯛やエイなどの大物も入っていました。また、子供たちのクーラーボックスに入れた魚を嬉しそうに見入ってはしゃぐ姿があちこちで見られました。

早朝から体を動かしお腹もすいてきた8時頃カニや魚の大量鍋の味噌汁とおにぎりで朝食をいただき、氷見の漁業文化交流センターへバス移動しました。そこでライフジャケット



皆で力を合わせて、せーのー!

トを着用し遊覧船のクルージングで沖合の定置網を周遊、船に群がるカモメに餌を与えながら海から陸地を眺め、潮風と共に夏の青い海を体感し清々しい気分になりました。

最後に氷見市海浜植物園に入館、子供たちは遊具や

ふわふわドームで飛び跳ね大人たちは涼しい館内で一息ついて全員無事に帰ってきました。参加した皆さんには大変好評でしたので、来年も続けて計画したいと思っています。



ライフジャケットを着用し全員集合!

立山登山

念願の立山登山

小久保 友美子

私は以前より、広報の立山登山の案内を見る

たびに、一度チャレンジしてみたいと思っていました。富山に生まれ育ったのに、自力で登頂した記憶がなかったからです。そしてできれば家族と登れたらと思い、小学五年生の娘を誘い一緒に挑戦することにしました。

一週間前から、天気予報のサイトやコロナ感染状況を気にしつつ臨んだ当日。運動不足の私と登山初体験の娘が最後まで登れるのか、メンバーの足手まといにならないか不安な気持ちで出発しました。室堂でバスを降りると空気は一変。肌寒く風もある中、みんなで準備体操をして、コースごとに行動開始です。

雄山頂上アタックコースの最初は歩きやすい石畳の道。道脇に咲くチングルマなどの可憐な高山植物や祓堂について、引率スタッフの山の方の説明を聞きながら楽しく歩くことができました。徐々に勾配が付き、一ノ越からはよいよ険しいガレ場の道です。大小の石がゴロゴロしている急な斜面はつらく、しだいに足運びも遅れ、前の方との距離が開いていきます。先へ目をやると、リーダーさんの後を必死でついていく娘の姿が見えました。娘は途中から頭痛を訴えながらも「ママ大丈夫?」と気遣ってくれて、私は「絶対一緒に登頂したい!」と重い足を一步一步踏み出しました。

そしてとうとう雄山の頂上に親子で立つことができました! 眼下の景色は雲がかかり、残念ながら360度のパノラマを見ることはできませんでしたが、無事に娘と登頂できた喜びと達成感で満たされました。

今回の登山で、立山の美しさと厳しさを実感し、また登山者はつらい中でもルールを守って道を譲り合い、声を掛け合う姿に感心し貴重な経験となりました。そして娘の成長も見ることができ嬉しかったです。お世話していたスタッフの方々、ご一緒したメンバーの皆さん、ありがとうございました。また挑戦したいです。



登山開始前の参加者の皆さん

に一度、彫刻が見たくて訪れたことがありました。そして昨年、縁あって富山に住むことになりました。富山湾でホタルイカを獲ったり立山連峰を見て一喜一憂したりと、富山を楽しんでいましたが、今回普段は入ることができない山門を見学できるということでまたとない機会だと思ひ申し込みました。

瑞泉寺は600年の歴史があるお寺。火災による焼失からの再建を繰り返しながらも、現在の規模を残していることに驚きました。彫刻に関しても詳しく解説して頂き、本堂だけでなく太子堂においても彫刻の数や迫力はもちろんのこと、モチーフや木材に対しての当時の彫刻師の思いを考えたりしました。ここから井波彫刻が発展していったのだと職人の心意気を感じました。

山門は建立から約200年。本堂の火災の際には、彫刻の龍が水を撒き火から山門を守り焼けずに残ったという言い伝えもあるとか。それだけに龍に



瑞泉寺山門より井波の町並を望む

迫力があるということでしょうか。そんなことを思いながら、山門にあげらせていただきました。井波の町並みを眺めながら200年前はどんな眺めだっただろうと思いを馳せました。今回はとても貴重な体験ができました。これからも富山探索していきたいと思います。

寄せ植え教室

秋の寄せ植え教室に参加して

大久保 登美子

初めての寄せ植え教室のことを考えて、朝からワクワクしていました。ところが、自分の寄せ植え材料と対面すると見たことも聞いたこともない花苗もあり、不安になりました。

でも、先生にわかりやすく寄せ植えのポイントを教えていただき、不安は楽しさに変わりました。初めは一番背の高い植物から順に鉢に植えていく。次に背の高い植物の足元を隠すように前に植えていく。背の低い植物は手前に倒すように植える。

色の配置や横の拡がり、空間などを考えながら、八種類のポットを一つずつ植えこんでいきます。一つの鉢に



文化フォーラム事業

瑞泉寺山門見学会に参加して

高平 華津子

10月16日に瑞泉寺にて行われた山門見学会に参加しました。

井波彫刻発祥の地と言われる瑞泉寺。数年前

大黒様



「令和踊り屋体」の魅力を更に高めるために、自治総合センターのコミュニティ

令和踊り屋体に新たな魅力

前号の広報で紹介いたしました、日本遺産推進事業で復活いたしました

部会長 原田 司

地域づくり部会

全部がおさまると全く別の作品となり胸にジーンとくるものがありました。花のついていない葉だけの植物も皆と一つになることで調和を出している。何か人間と通じる所があるように感じました。



寄せ植え教室参加者の作品



令和踊り屋体と子供たちによる踊りの披露

助成事業により、新たな井波彫刻が加わりました。屋体正面に「大黒鬼板」・大棟前鬼板に「恵比須様」・大棟後鬼板に「大黒様」・唐破風鬼板に「波と鯛」・上段木鼻に「鳳凰頭部」などの彫刻が設置されました。



波と鯛

11月7日(日)井波地域文化祭において、文化センター前で子供たちの踊りの披露も行われ、南砺市内で唯一の踊り屋体として、新たな魅力が発信されました。

編集後記

表紙にも掲載いたしました、一般社団法人ジソウラボについてご紹介いたします。

日本遺産に認定された井波の伝統を未来に継承するため、業種の垣根を超えたメンバーが街づくりを目指すため、日本遺産人材育成三四郎プロジェクトの取組に伴い「ジソウラボ」という組織を立ち上げられました。

現在は井波地域づくり協議会のメンバーとして様々な地域課題に取り組んでおられます。



井波地区の人口と世帯数の推移

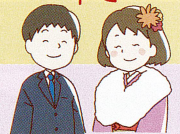
△印：減少

	R3. 10月末 現在	R2/10月末	増 減
人 口	4,220人	4,315人	△ 95人
男 性	1,971人	2,010人	△ 39人
女 性	2,249人	2,305人	△ 56人
世 帯 数	1,681世帯	1,691世帯	△ 10世帯

行事のお知らせ

- 12月 9日(木) スマホ教室 (TST主催)
- 11日(土) クリスマス会
- 12日(日) 親子料理教室
- 13日(月) 青色防犯パトロール (~ 28日)
- 1月 8日(土) 消防出初め式
- 9日(日) 成人式
- 10日(月) 左義長
- 2月 元氣塾
- 競書大会表彰式
- 3月 広報いなみ第9号発行
- 福祉研修会

祝



※あすも元氣デイは毎週木曜日開催

発行：井波地域づくり協議会 〒932-0231 南砺市山見1739-2「アスモ」2F
Tel/Fax 0763-82-3744 Email: inami.kmn@gmail.com ホームページ: <https://inami-kc.7104.info/>